

## 『日本の児童問題 No.7』 定価 1300 円

- 「巻頭言」養護施設からの旅立ち・竹中哲夫
- 現代日本の児童問題と子どもの権利条約・一番ヶ瀬康子
- 養護問題と子どもの権利－今後の養護内容の課題を中心に－・野沢正子
- 高校生の自立・発達と生活指導・山本明弘
- 「生きる」の特集にあたって・神田ふみよ
- 私にとって施設とは・浅野良子
- きっと幸せは訪れる・小山博子
- 今の私は、過去があるからこそ・川崎信宏
- 卒園した人達が、帰りやすい場所、雰囲気をも・近藤恵子
- 私の人生・松原久子
- 自分さがしの旅・加藤幸子
- 施設を出て思うこと・伊藤一人
- 幸せとは支えである・吉川浩三
- 「泣く」という行為をなくしては語れない・吉田一雄
- 私と施設・河合敏美
- 施設とはなくてはならなかった所・前田真也
- 過去そして未来へ・本多涼
- 家族とは学園で共に暮らして来た仲間だ・小川雅子
- 旅たちの巣・石川和代
- 養護施設出身って何？・田島洋子
- 学園で育てて良かった・佐藤友恵
- 養護施設で育った私・生方教子
- 34年間を振り返って・千谷良吉
- 責任を持って育てていきたい・川辺俊子
- 家庭の太陽でありたい・岩田好江
- つらかったヤクザの妻としての生活・福井節子
- 身をもって感じた出会いの大切さ・柳田清美
- 39年の歩み・中山敏行
- 施設が人生を切り開いて行くための登竜門・正木良雄
- 卒園生K君の死を悼む・長谷川真人
- わが悔悛の記・喜多一憲
- 人の世の旅に登れ・神戸賢次
- 乳幼児養護の現状と今後のあり方・桑井智恵
- 子どもの学力と学習指導・古川浩二
- 養護施設における障害児の取り組みについて・珍珠富美
- てんかん発作を持つ障害児の一年間のとりくみ・加納けい子
- 積性勝の生涯と思想(その6)積性勝と集団主義教育思想「集団養護から集団主義養護への道」・浅倉恵一